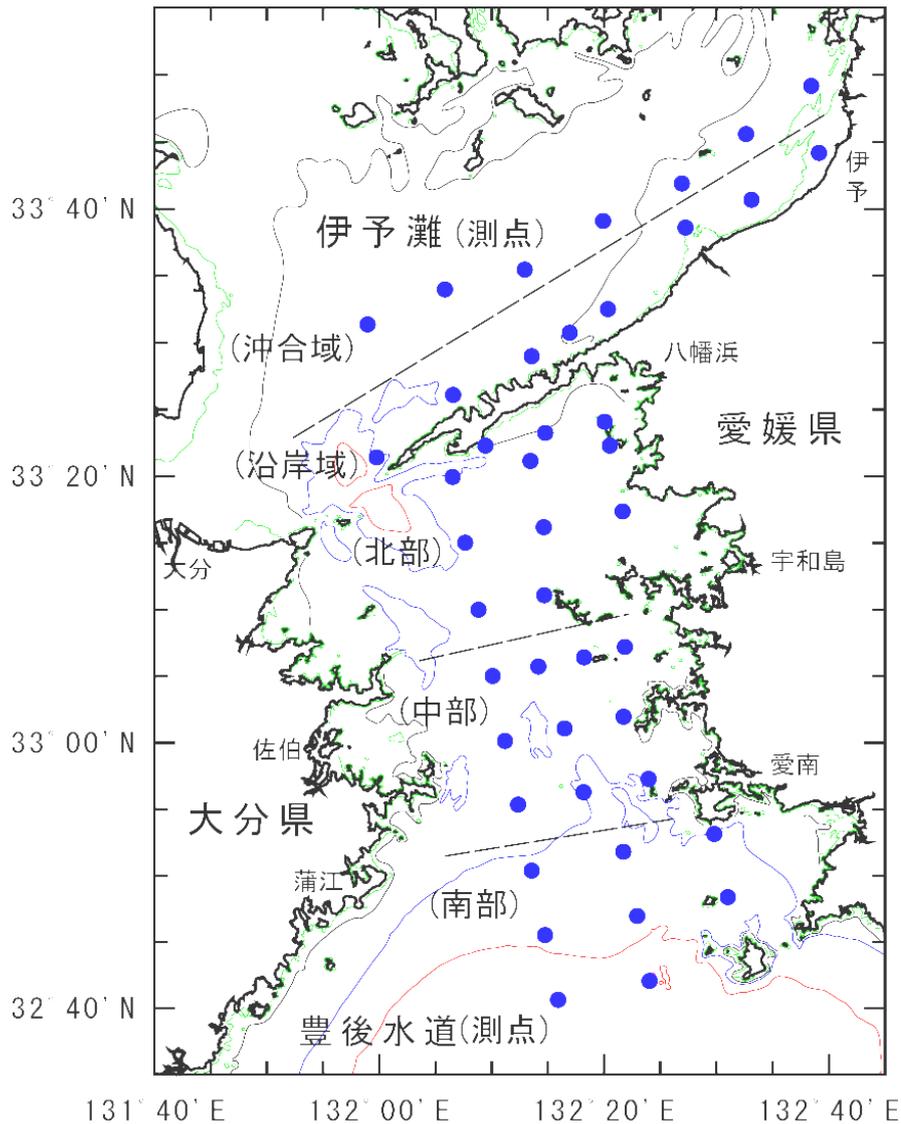


豊後水道東側（宇和海）の海況と小型浮魚類  
（イワシ類・マアジ・サバ類）の出現状況について  
2022年4月～6月の経過と8月～12月の予測



2022年8月10日

愛媛県農林水産研究所 水産研究センター

環境資源室

## ○概要

令和4年7月27日、28日に国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所が、太平洋側21都道府県の関係試験研究機関による資源調査結果等を踏まえて太平洋側の漁海況経過の総括と予測を行うため長期漁海況予報会議を行いました。そこで、2022年4月～6月について太平洋側の海況と浮き魚5種（マイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マアジ・サバ類）の漁況経過を取りまとめ、2022年8月～12月の漁海況の予測を行いました。

本稿では豊後水道東側における漁海況の経過と予測についての概要を紹介し  
ます。詳細については、水産研究・教育機構のHPをご参照ください。

[\(20220801 | プレスリリース | 水産研究・教育機構 \(affrc.go.jp\)\)](#)

## ○海況 ※平年:平成3年(1991年)～令和2年(2020年)の30年間の平均

### 【2022年3～7月の海況経過】

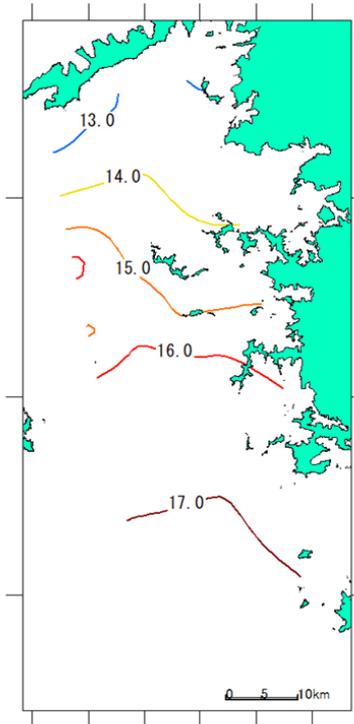
#### ◇水温

北部：3月は全層で「平年並み」。4月は0～10m及び75m層で「平年並み」、20～50m層で「やや低め」。5月は0～10m層で「平年並み」、20～75m層で「やや低め」。6月は0～50m層で「平年並み」、75m層で「やや高め」。7月は0～10m層で「やや高め」、20～75m層で「平年並み」(図1参照)。

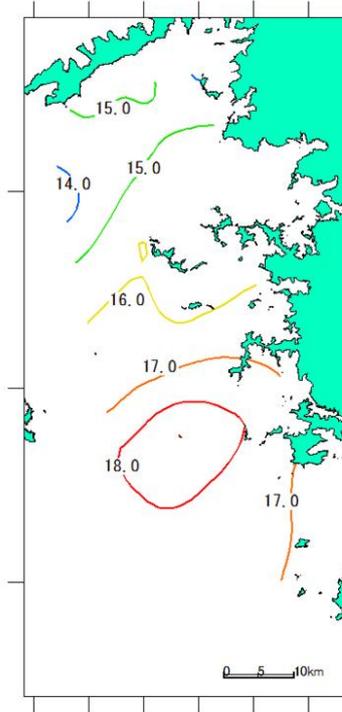
中部：3月は全層で「平年並み」。4月は0～50m層で「平年並み」、75m層で「やや低め」。5月は全層で「平年並み」。6月は0～50m層で「平年並み」、75m層で「やや高め」。7月は0m層で「やや高め」、10～75m層で「平年並み」(図1参照)。

南部：3月は全層で「平年並み」。4月は0～50m層で「やや低め」、75～100m層で「平年並み」。5月は0m層で「やや高め」、10～20m層で「高め」、50～100m層で「平年並み」。6月は0～20m及び100m層で「やや高め」、50～75m層で「高め」。7月は0m層で「やや高め」、10～100m層で「平年並み」(図1参照)。

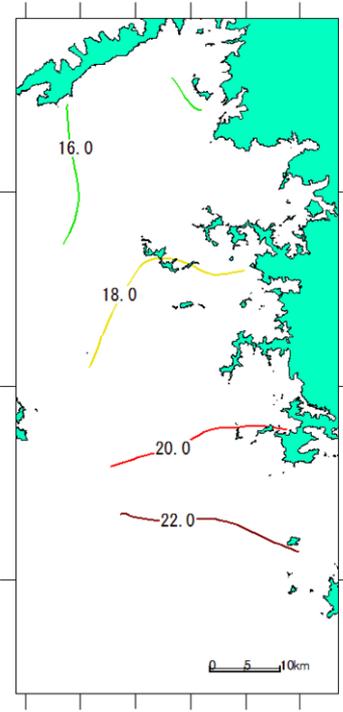
3月



4月

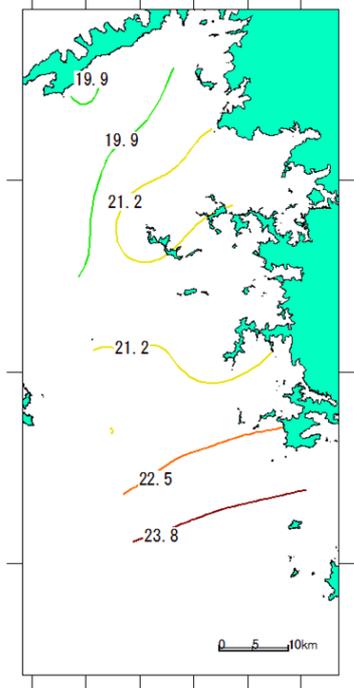


5月

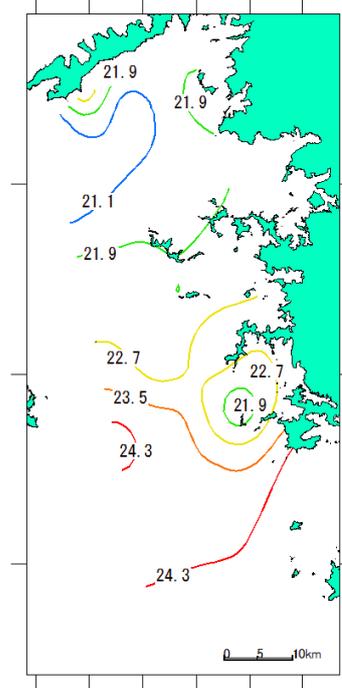


32° 04' E 水温(10m層・°C)

6月



7月



	水深	3月	4月	5月	6月	7月
豊後水道 北部 (愛媛)	観測日	17日	12日	11日	20日	6日
	0m	+ -	+ -	- +	+ -	+
	10m	+ -	- +	- +	+ -	+
	20m	+ -	-	-	+ -	+ -
	50m	- +	-	-	+ -	+ -
75m	+ -	- +	-	+	+ -	
豊後水道 中部 (愛媛)	観測日	14日	13日	9日	15日	7日
	0m	+ -	+ -	+ -	- +	+
	10m	+ -	- +	+ -	- +	+ -
	20m	- +	- +	- +	+ -	+ -
	50m	- +	- +	- +	+ -	- +
75m	- +	-	- +	+	+ -	
豊後水道 南部 (愛媛)	観測日	16日	8日	13日	16日	8日
	0m	- +	-	+	+	+
	10m	- +	-	++	+	+ -
	20m	- +	-	++	+	+ -
	50m	- +	-	+ -	++	- +
	75m	- +	- +	+ -	++	- +
100m	- +	- +	+ -	+	- +	

評価基準	
+++ (---)	: 平年よりかなり高め(低め)
++ (--)	: 平年より高め(低め)
+ (-)	: 平年よりやや高め(低め)
+ - (- +)	: 平年並み (プラス, マイナス基調)

図 1 豊後水道東側における月別の海況図と水温年偏差

### ◇黒潮

- ✓都井岬沖：3月は離岸傾向、4月～5月中旬は接岸傾向、その後は概ね離岸傾向で推移した。
- ✓足摺岬沖：3月上旬～4月中旬は「著しく離岸」、4月下旬～5月上旬に「やや離岸」、5月下旬には「接岸」、6月以降は「やや離岸」～「著しく離岸」で推移した。



8月8日の海況図 (海上保安庁 海洋情報部 HP より引用)

### 【2022年8～12月の黒潮の見通し】

- ◇都井岬沖：9月までは接岸傾向で、その後は離岸傾向で推移する。
- ◇足摺岬沖：概ね離岸傾向で推移するものの、一時的に接岸傾向となる。

○漁況 ※近年：過去5年間の平均 平年：過去20年間の平均

マイワシ

【2022年4月～6月の漁況経過】

豊後水道東側では、4～6月のいずれの月においても水揚げはなかった。（対前年比0%、対近年比0%、対平年比0%）（図2、3参照）6月にはわずかにまき網による水揚げがあったが、水揚げデータとしては計上されていない。6月に水揚げされたマイワシは被鱗体長60～120mmの0歳魚が主体であった。

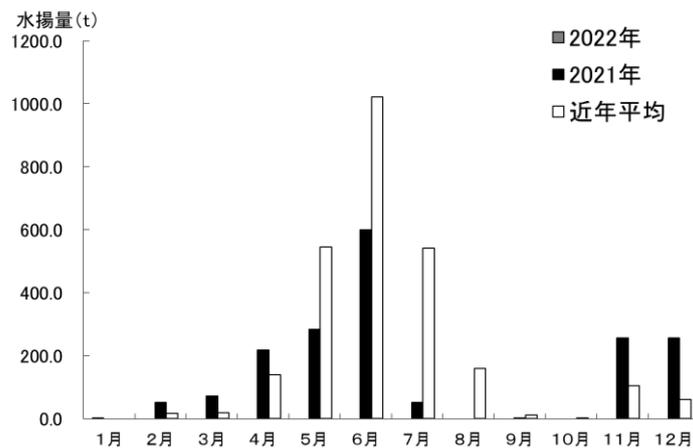


図2 豊後水道東側における月別マイワシ水揚量

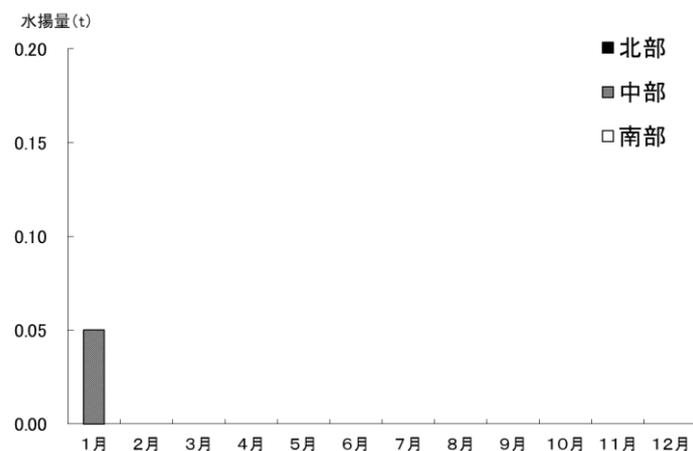


図3 豊後水道東側における海域別のマイワシ水揚げ量

【2022年8月～12月の漁況予測】

予測期間中の漁獲対象となる0歳魚の水揚げ量について、例年8～12月に比べて少なく推移している。2022年4～6月の水揚げ量が前年同期を大幅に下回っているため、8月～12月の水揚げ量も前年同期（514.1t）を下回ると予想される。

## カタクチイワシ

### 【2022年4月～6月の漁況経過】

豊後水道東側における水揚げ量は、4月 97.3 t、5月 355.5 t、6月 1944.6 t で、計 2397 t（対前年比 127%、対近年比 173%、対平年 161%）となった（図 4、5 参照）。4～6月に水揚げされたカタクチイワシは被鱗体長 50mm～120mm が主体であった。

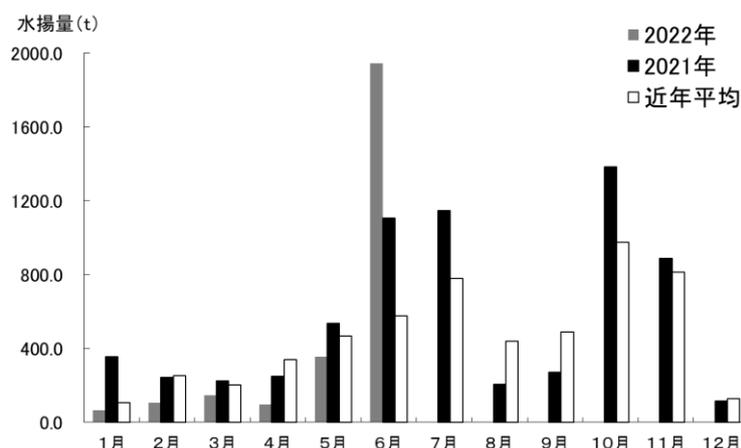


図 4 豊後水道東側における月別カタクチイワシ水揚げ量

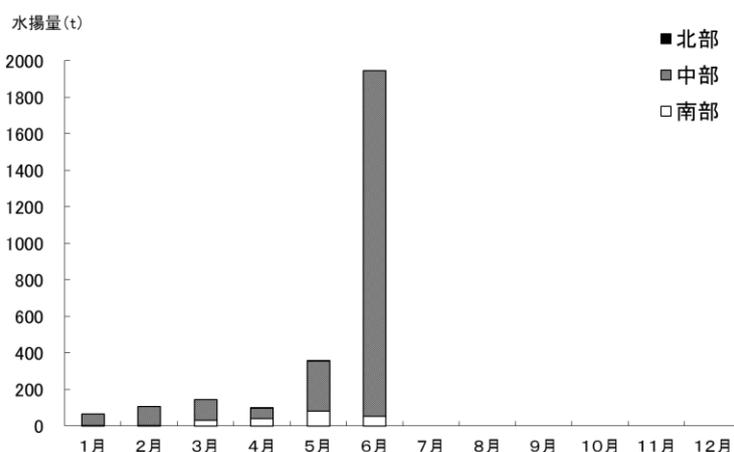


図 5 豊後水道東側における海域別のカタクチイワシ水揚げ量

### 【2022年8月～12月の漁況予測】

例年 8～12 月は、被鱗体長 100mm 以下の本県周辺海域で生まれたカタクチイワシが漁獲の主体となる。2022 年は 4～6 月の水揚げ量が前年同期を大幅に上回ったため、8～12 月の水揚げ量も前年同期 (2861.4 t) を大きく上回ると予想される。

## ウルメイワシ

### 【2022年4月～6月の漁況経過】

豊後水道東側における水揚量は、4月9.5t、5月49.3t、6月216tで、計289.5t（対前年比29%、対近年比32%、対平年比29%）となった（図6、7）。4～6月の水揚げは被鱗体長80～130mmの0歳魚が主体であった。6月には200～230mmの1歳魚もわずかに漁獲されていた。

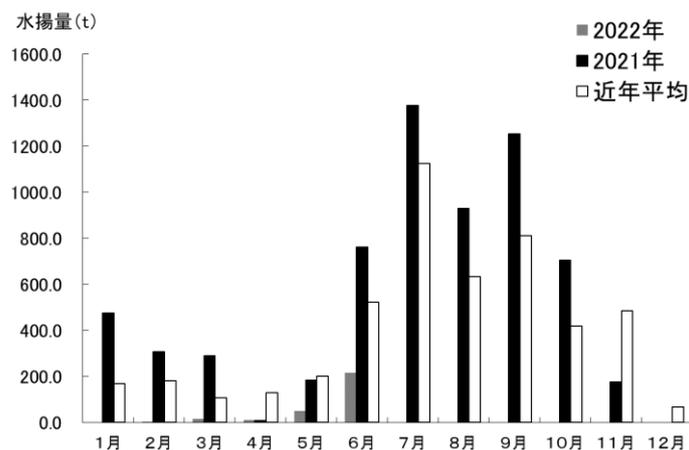


図6 豊後水道東側における月別ウルメイワシ水揚量

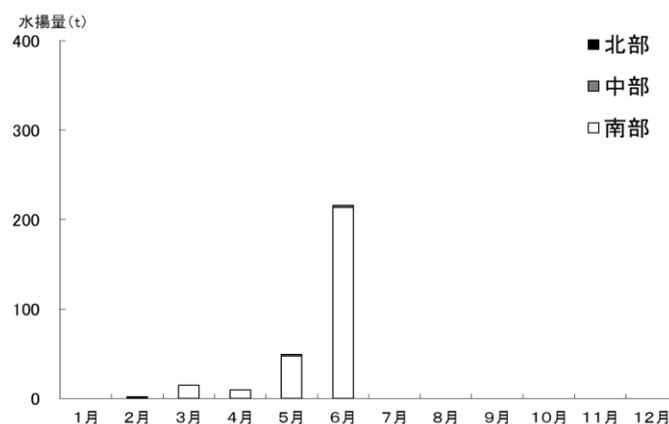


図7 豊後水道東側における海域別ウルメイワシ水揚量

### 【2022年8月～12月の漁況予測】

過去の水揚げデータによると、4月～6月の水揚げが多い年は、8～12月においても水揚げ量が多くなっている。（図8）。この関係から2022年8～12月の水揚げ量は前年同期（3064.0t）を大きく下回ると予測される。

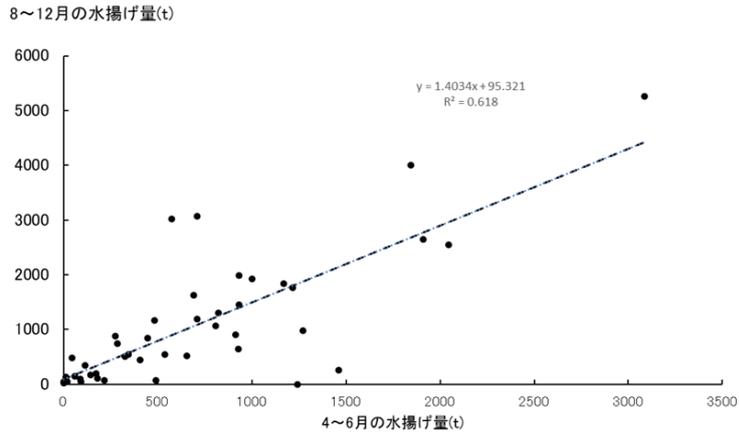


図8 ウルメイワシにおける4～6月と8～12月の水揚量の相関

## マアジ

### 【2022年4月～6月の漁況経過】

豊後水道東側における水揚げ量は、4月7.1t、5月74.6t、6月44.9tで、計126.6t（対前年比111%、対近年比45%、対平年比15%）となった(図9、10参照)。

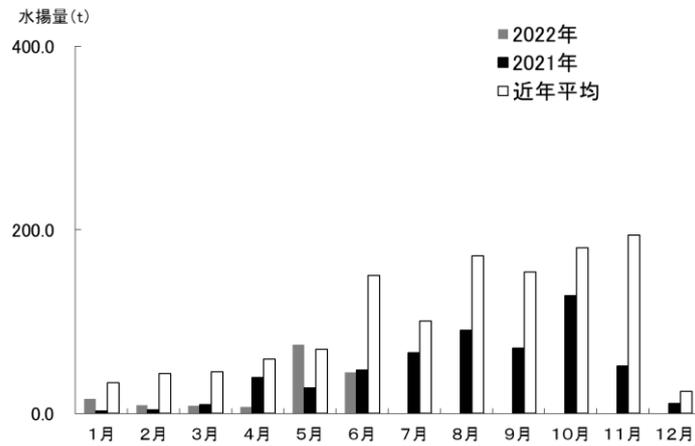


図9 豊後水道東側における月別マアジ水揚げ量

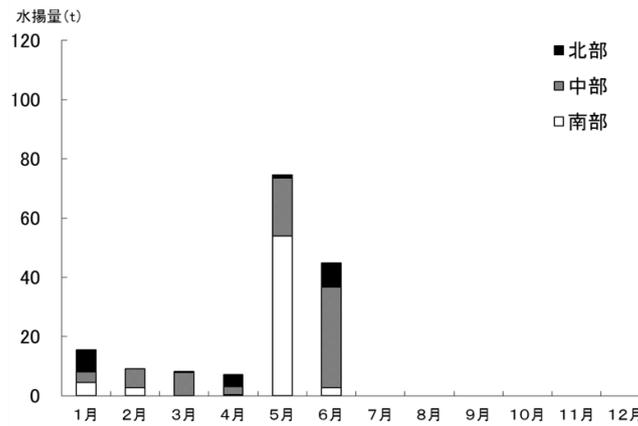


図 10 豊後水道東側における海域別マアジ水揚量

**【2022年8月～12月の漁況予測】**

過去の水揚げデータによると、5、6月の水揚げが多い年は、8～12月においても水揚げ量が多くなっている(図10参照)。この関係から2022年8～12月の水揚げ量は前年(352.8t)と同等か少し上回ると予想される。

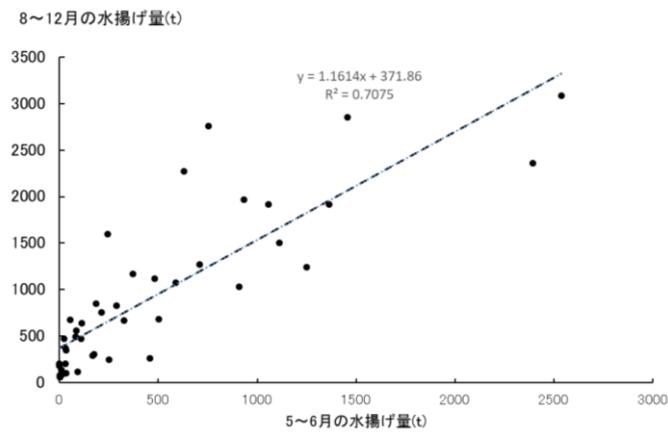


図 11 マアジ（ゼンゴ銘柄）における5、6月と8～12月の水揚量の相関

## サバ類

### 【2022年4月～6月の漁況経過】

豊後水道東側における水揚げ量は、4月181.1t、5月356.3t、6月411.9tで、計949.2t（対前年比100%、対近年比74%、対平年比87%）となった。南部のまき網の水揚げが全体の90%以上を占めた（図12、13参照）。

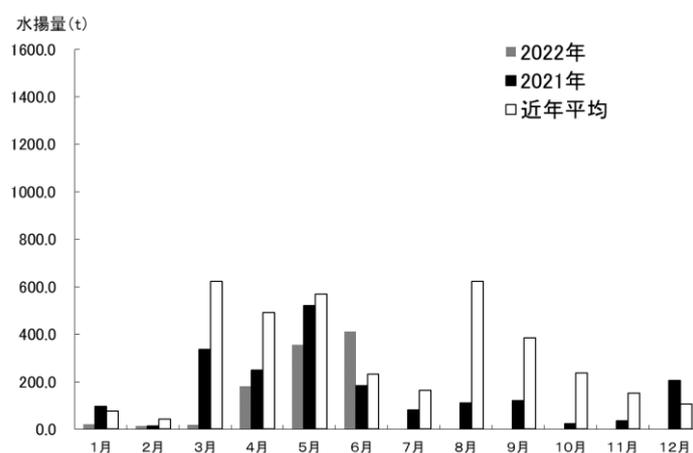


図12 豊後水道東側における月別サバ類水揚量

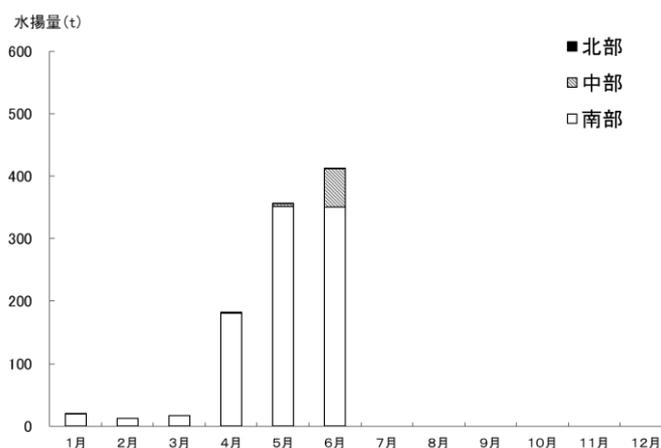


図13 豊後水道東側における海域別サバ類水揚量

### 【2022年8月～12月の漁況予測】

2022年は4～6月の水揚げ量が前年と同等であったため、8～12月の水揚げ量もマサバを主体に前年同期（493.8t）と同等になると予測される。